平成27年度文部科学省委託事業
「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業」

事業名称:
超高齢社会における認知症患者に寄り添う医療・介護連携型の
中核的鍼灸専門人材の育成

学校法人後藤学園　東京衛生学園専門学校

～ 平成27年度文部科学省委託事業 ～

「超高齢社会における認知症患者に寄り添う医療・介護連携型の中核的鍼灸専門人材の育成」

第二回実施委員会・合同分科会

11月9日 (月) 18:00 ～

東京衛生学園専門学校

会場: 5階 501教室

平成27年度文部科学省委託事業

第２回実施委員会・合同分科会

- 次第

一、開会
二、実施委員会委員長（後藤修司）挨拶
三、IT（DVD）教材開発進捗状況報告および今後の予定
四、実証分科会進捗状況報告および今後の予定
五、調査分科会進捗状況報告および今後の予定
六、意見交換（合同分科会）
七、今後の進め方
八、第３回実施委員会および成果報告会のご案内
九、その他

事業の目的・概要（平成27年度）

①目的・概要
　本事業では、平成２６年度は医療・介護連携型の認知症患者に寄り添う中核的鍼灸専門人材の育成を目的として認知症専門鍼灸師育成のための認知症患者対応型モデル教材の開発を行った。

　平成２７年度は認知症専門鍼灸師を大々的に育成することを目的として、本モデル教材のIT化をはかり、特に実技系（実地研修系）の動画を活用した認知症専門鍼灸師のスキルアップ、キャリアアップを多面的に支援する学習支援環境の整備をはかる。

②養成する人材像
・多職種医療連携のもとで認知症の予防と改善に貢献することができる鍼灸専門人材
・鍼灸医学の長所である全人的・総合的な角度から認知症の人をサポートできる鍼灸専門人材
・認知症の人およびそのご家族、介護者を支えることができる鍼灸専門人材

西洋医学系・鍼灸医学系・介護福祉系連携型DVD教材開発
～認知症専門鍼灸師のための認知症患者対応型IT教材開発～

【開発WG】

平成26年度に開発した認知症対応型モデル教材のIT化（DVD化）

【目的】

モデル教材の座学系、実技系（実習系）内容をIT化することにより、モデル教材と連動させて多面的にスキルアップ、キャリアアップをはかりやすい学習支援環境を整える。

【規模】

西洋医学系・介護福祉系・鍼灸医学系3分野で合計3時間のDVD教材を作成（500枚）

【実施方法】

外部業者（（株）デジタル・ナレッジ）に構成・制作管理、制作業務、DVDデザイン、プレスを依頼

認知症対応型・IT教材（DVD教材）開発
映像コンテンツ制作・DVD作成スケジュール

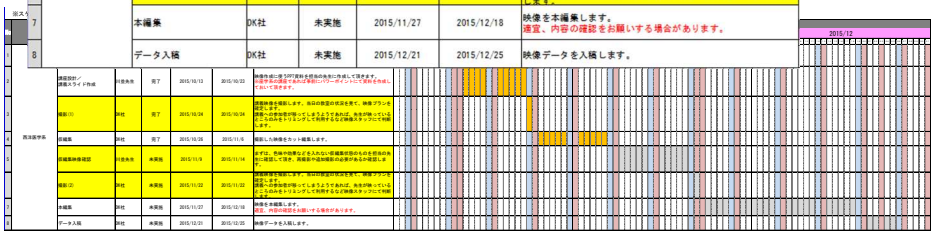
1，講座設計 / 映像仕様事前打ち合わせ（10月1日～10月9日）
2，講座設計 / 講義スライド作成（10月13日～10月23日）
3，撮影
　・西洋医学系・鍼灸医学系（10月24日～10月25日）
　・介護福祉系（10月26日～11月10日）
4．仮編集
　・西洋医学系・鍼灸医学系（10月26日～11月6日）
　・介護福祉系（11月11日～11月26日）
5，仮編集映像確認（11月6日～12月10日）
6，本編集（11月27日～12月22日）
7，データ入稿（12月25日終了）
8，DVDマスター制作・DVDプレス（1月7日～1月28日）
9，後藤学園に納品（1月29日に郵送）

※スケジュールのセルがグレーの箇所は「計画」、オレンジ色が「実績」を表している。

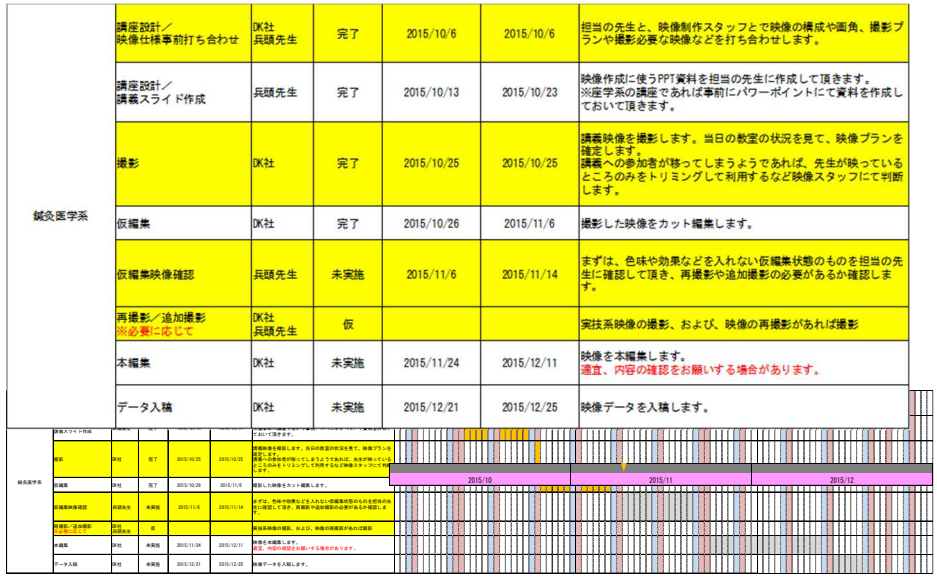
No	種別	分類	担当	期間 状況	開始	終了	備考／目的
1	西洋医学系	講座設計／映像仕様事前打ち合わせ	DK社 川並先生	完了	2015/10/6	2015/10/6	担当の先生と、映像制作スタッフとで映像の構成や画角、撮影プランや撮影必要な映像などを打ち合わせします。
2		講座設計／講義スライド作成	川並先生	完了	2015/10/13	2015/10/23	映像作成に使うPPT資料を担当の先生に作成して頂きます。※座学系の講座であれば事前にパワーポイントにて資料を作成しておいて頂きます。
3		撮影(1)	DK社	完了	2015/10/24	2015/10/24	講義映像を撮影します。当日の教室の状況を見て、映像プランを確定します。講義への参加者が移ってしまうようであれば、先生が映っているところのみをトリミングして利用するなど映像スタッフにて判断します。
4		仮編集	DK社	完了	2015/10/26	2015/11/6	撮影した映像をカット編集します。
5		仮編集映像確認	川並先生	未実施	2015/11/9	2015/11/14	まずは、色味や効果などを入れない仮編集状態のものを担当の先生に確認して頂き、再撮影や追加撮影の必要があるか確認します。
		撮影(2)	DK社	未実施	2015/11/22	2015/11/22	講義映像を撮影します。当日の教室の状況を見て、映像プランを確定します。講義への参加者が移ってしまうようであれば、先生が映っているところのみをトリミングして利用するなど映像スタッフにて判断します。
7		本編集	DK社	未実施	2015/11/27	2015/12/18	映像を本編集します。適宜、内容の確認をお願いする場合があります。
8		データ入稿	DK社	未実施	2015/12/21	2015/12/25	映像データを入稿します。

※スケジュールのセルがグレーの箇所は「計画」、オレンジ色が「実績」を表している。

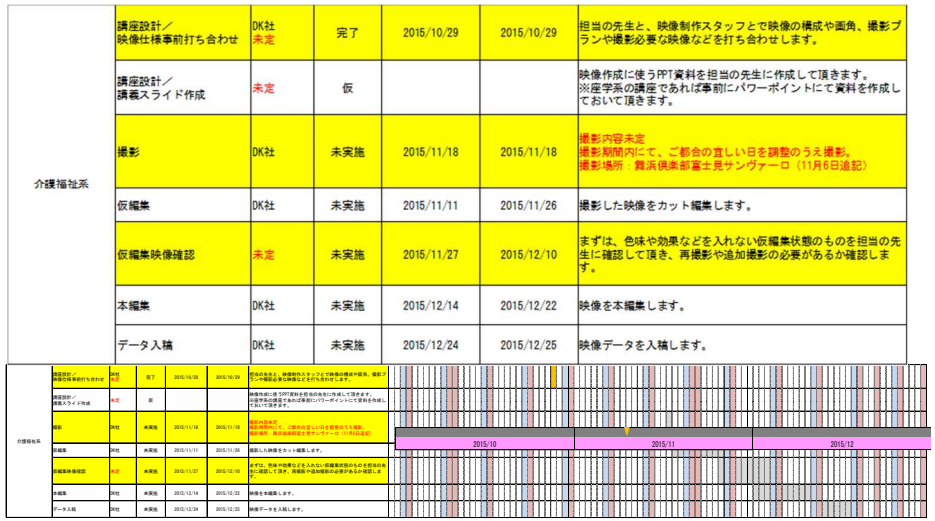
No	種別	分類	担当	期間 状況	開始	終了	備考／目的
1	西洋医学系	講座設計／映像仕様事前打ち合わせ	DK社 川並先生	完了	2015/10/6	2015/10/6	担当の先生と、映像制作スタッフとで映像の構成や画角、撮影プランや撮影必要な映像などを打ち合わせします。
2		講座設計／講義スライド作成	川並先生	完了	2015/10/13	2015/10/23	映像作成に使うPPT資料を担当の先生に作成して頂きます。※座学系の講座であれば事前にパワーポイントにて資料を作成しておいて頂きます。
3		撮影 (1)	DK社	完了	2015/10/24	2015/10/24	講義映像を撮影します。当日の教室の状況を見て、映像プランを確定します。講義への参加者が移ってしまうようであれば、先生が映っているところのみをトリミングして利用するなど映像スタッフにて判断します。
4		仮編集	DK社	完了	2015/10/26	2015/11/6	撮影した映像をカット編集します。
5		仮編集映像確認	川並先生	未実施	2015/11/9	2015/11/14	まずは、色味や効果などを入れない仮編集状態のものを担当の先生に確認して頂き、再撮影や追加撮影の必要があるか確認します。
		撮影 (2)	DK社	未実施	2015/11/22	2015/11/22	講義映像を撮影します。当日の教室の状況を見て、映像プランを確定します。講義への参加者が移ってしまうようであれば、先生が映っているところのみをトリミングして利用するなど映像スタッフにて判断します。
7		本編集	DK社	未実施	2015/11/27	2015/12/18	映像を本編集します。適宜、内容の確認をお願いする場合があります。
8		データ入稿	DK社	未実施	2015/12/21	2015/12/25	映像データを入稿します。



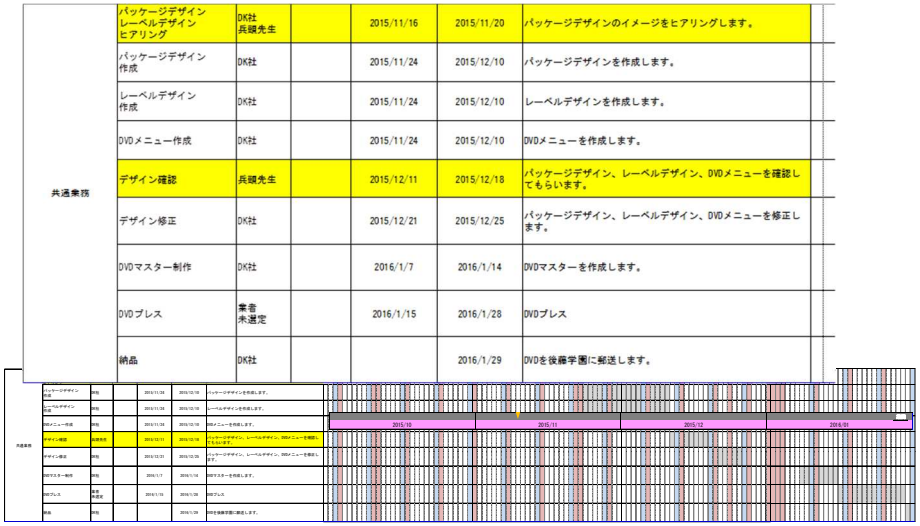
鍼灸医学系	講座設計／ 映像仕様事前打ち合わせ	DK社 兵頭先生	完了	2015/10/6	2015/10/6	担当の先生と、映像制作スタッフとで映像の構成や画角、撮影プランや撮影必要な映像などを打ち合わせします。
	講座設計／ 講義スライド作成	兵頭先生	完了	2015/10/13	2015/10/23	映像作成に使うPPT資料を担当の先生に作成して頂きます。 ※座学系の講座であれば事前にパワーポイントにて資料を作成しておいて頂きます。
	撮影	DK社	完了	2015/10/25	2015/10/25	講義映像を撮影します。当日の教室の状況を見て、映像プランを確定します。 講義への参加者が移ってしまうようであれば、先生が映っているところのみをトリミングして利用するなど映像スタッフにて判断します。
	仮編集	DK社	完了	2015/10/26	2015/11/6	撮影した映像をカット編集します。
	仮編集映像確認	兵頭先生	未実施	2015/11/6	2015/11/14	まずは、色味や効果などを入れない仮編集状態のものを担当の先生に確認して頂き、再撮影や追加撮影の必要があるか確認します。
	再撮影／追加撮影 ※必要に応じて	DK社 兵頭先生	仮			実技系映像の撮影、および、映像の再撮影があれば撮影
	本編集	DK社	未実施	2015/11/24	2015/12/11	映像を本編集します。 適宜、内容の確認をお願いする場合があります。
	データ入稿	DK社	未実施	2015/12/21	2015/12/25	映像データを入稿します。



介護福祉系	講座設計／ 映像仕様事前打ち合わせ	DK社 未定	完了	2015/10/29	2015/10/29	担当の先生と、映像制作スタッフとで映像の構成や画角、撮影プランや撮影必要な映像などを打ち合わせします。
	講座設計／ 講義スライド作成	未定	仮			映像作成に使うPPT資料を担当の先生に作成して頂きます。 ※座学系の講座であれば事前にパワーポイントにて資料を作成しておいて頂きます。
	撮影	DK社	未実施	2015/11/18	2015/11/18	撮影内容未定 撮影期間内にて、ご都合の宜しい日を調整のうえ撮影。 撮影場所：舞浜倶楽部富士見サンヴァーロ（11月6日追記）
	仮編集	DK社	未実施	2015/11/11	2015/11/26	撮影した映像をカット編集します。
	仮編集映像確認	未定	未実施	2015/11/27	2015/12/10	まずは、色味や効果などを入れない仮編集状態のものを担当の先生に確認して頂き、再撮影や追加撮影の必要があるか確認します。
	本編集	DK社	未実施	2015/12/14	2015/12/22	映像を本編集します。
	データ入稿	DK社	未実施	2015/12/24	2015/12/25	映像データを入稿します。



共通業務	パッケージデザイン レーベルデザイン ヒアリング	DK社 兵頭先生		2015/11/16	2015/11/20	パッケージデザインのイメージをヒアリングします。
	パッケージデザイン 作成	DK社		2015/11/24	2015/12/10	パッケージデザインを作成します。
	レーベルデザイン 作成	DK社		2015/11/24	2015/12/10	レーベルデザインを作成します。
	DVDメニュー作成	DK社		2015/11/24	2015/12/10	DVDメニューを作成します。
	デザイン確認	兵頭先生		2015/12/11	2015/12/18	パッケージデザイン、レーベルデザイン、DVDメニューを確認してもらいます。
	デザイン修正	DK社		2015/12/21	2015/12/25	パッケージデザイン、レーベルデザイン、DVDメニューを修正します。
	DVDマスター制作	DK社		2016/1/7	2016/1/14	DVDマスターを作成します。
	DVDプレス	業者 未選定		2016/1/15	2016/1/28	DVDプレス
	納品	DK社			2016/1/29	DVDを後藤学園に郵送します。



西洋医学系・鍼灸医学系・介護福祉系連携型DVD教材開発
～認知症専門鍼灸師のための認知症患者対応型IT教材開発～

【実証WG】

実証講座の実施

【目的】

試用IT教材を使って実証講座を実施し、達成度評価と課題抽出を行う

【対象】①卒前の学生（卒業予定者） ②卒後有資格者

【規模】それぞれ20名

【時期】12月

【手法】試用IT教材を使った講座

【実施方法】

YouTubeを使い受講希望者にIDとパスワードを提供して実施し、達成度評価とアンケート調査を行う

西洋医学系・鍼灸医学系・介護福祉系連携型DVD教材開発
～認知症専門鍼灸師のための認知症患者対応型IT教材開発～

【実証WG】平成27年度実証講座DVD編集用資料

【介護福祉系講座】

Ⅰ、テーマ:コミュニケーションと関係

講師:北島学 （株）舞浜倶楽部・富士見サンヴァーロ施設長

編集① 00:33（自己紹介、導入）～07:11

「認知症の方とのコミュニケーション」

「認知症の方とのコミュニケーション」01:51～04:23

「コミュニケーション」04:23～07:11

編集② 07:11～20:14

「認知症の方との接し方」07:11～20:14

編集③ 20:15～26:50

「事例①」の紹介 20:15～26:50

Aさん、女性、80代後半、要介護5

アルツハイマー型認知症、認知症日常生活自立度Ⅳ

編集④ 26:50～37:07

「バリデーション」について 26:50～37:07

編集⑤ 37:07～43:27

「タクティールケア」について 37:07～41:27

1，タクティールケア

2，事例②

3，コミュニケーションと関係

西洋医学系・鍼灸医学系・介護福祉系連携型DVD教材開発
～認知症専門鍼灸師のための認知症患者対応型IT教材開発～

【実証WG】平成27年度実証講座DVD編集用資料

【介護福祉系講座】
Ⅱ、テーマ:症状の緩和　43:39～
講師:北島学　(株)舞浜倶楽部・富士見サンヴァーロ施設長

編集①「緩和ケアとは」 43:39～45:38
　「緩和ケアとは」43:39～45:38
編集②「認知症とは」 45:38～54:08
　1, 認知症とは
　2, 認知症の症状
　3, 中核症状
　4, 行動心理症状(BPSD)
編集③「症状の緩和」について　54:08～01:00:53
　1, 症状の緩和
　2, 緩和の種類
　3, 例①　あいさつ、施術中、施術後
編集④「症状の緩和」～回想法など～　01:00:53～01:18:40
編集⑤　質疑応答

西洋医学系・鍼灸医学系・介護福祉系連携型DVD教材開発
～認知症専門鍼灸師のための認知症患者対応型IT教材開発～

【実証WG】平成27年度実証講座DVD編集用資料

【鍼灸医学系講座】
Ⅰ、テーマ:高齢者の生理病理と老化メカニズム
講師:兵頭　明　学校法人後藤学園　中医学研究所所長

編集①　00:00～04:19
　「なぜ三焦鍼法を採用したか」
編集②　04:19～06:46
　「陰陽のバランスと健康」について
編集③　06:46～14:01
　「老化のメカニズム①」～陰液と精の不足について～
編集④　14:01～23:51
　「老化のメカニズム②」～気血不足、津液不足、神志の衰退について～
編集⑤　23:52～32:20
　「全人的・総合的サポートの秘訣」について
編集⑥　32:20～41:55
　「鍼灸によるご高齢者のQOL向上の可能性」について
編集⑦　41:58～48:12
　「生活習慣病の予防・改善、寝たきり予防の可能性」について
編集⑧　48:20～57:00
　「東洋医学の病態観」について

西洋医学系・鍼灸医学系・介護福祉系連携型DVD教材開発
～認知症専門鍼灸師のための認知症患者対応型IT教材開発～

【実証WG】平成27年度実証講座DVD編集用資料

【鍼灸医学系講座】
Ⅱ、テーマ:鍼灸による認知症への取り組み
講師:兵頭　明　学校法人後藤学園　中医学研究所所長

編集①　57:59～01:08:07　※「どういう取り組みが行われているか」からスタート
　　※「ツボに関してはこういう状態です」で終
　「認知症患者に寄り添う中核的鍼灸専門人材の育成」について
編集②　01:08:07～01:15:40
　「特別養護老人ホームでの三焦鍼法症例報告」
　　※「え～、こういう考え方を共有しながら」からスタート、「お医者様に対して」でカット
　　続:01:19:21～01:19:47
編集③　01:19:48～01:23:26
　「在宅での三焦鍼法症例報告」
　　※「気づいて上げて下さい……」で終
編集④　01:23:28～01:29:06
　「パーキンソン病で軽度認知障害が疑われる患者に対する鍼灸マッサージ治療」
編集⑤　01:29:08～01:35:12
　「認知症Gold-QPD育成講座研修生による症例報告データ」のご紹介

西洋医学系・鍼灸医学系・介護福祉系連携型DVD教材開発
～認知症専門鍼灸師のための認知症患者対応型IT教材開発～

【実証WG】平成27年度実証講座DVD編集用資料

【西洋医学系講座】
テーマ:
講師:川並汪一　日本医科大学名誉教授、(一社)老人病研究会会長
パワーポイント資料は『成果報告書』P93～P102にある

編集①　00:32～12:46
　「治る認知症、治らない認知症」について
　　※講義中のDVDは著作権の問題があるため割愛させていただきます。

編集②　46:33～56:32
　「認知症」について
　　1, 認知症を呈する疾患
　　2, 三大認知症とは何か

編集③　56:34～01:04:40
　「家族が一番最初に気づく認知症高齢者の日常生活上の変化」について
　「初診時の受診理由」

編集④　01:01:40～01:21:33
　「認知症と周辺症状」について

【実証WG】平成27年度実証講座DVD編集用資料

【西洋医学系講座】
テーマ：
講師：川並汪一　日本医科大学名誉教授、（一社）老人病研究会会長
パワーポイント資料は『成果報告書』P93～P102にある

編集⑤　01:28:55～01:34:37
「中核症状アセスメント」について
「認知症観察テスト（OLD）」について
MMSE認知症測定方法について

編集⑥　01:34:37～01:41:44
「アルツハイマー型認知症の経過と塩酸ドネペジル」について

編集⑦　01:41:45～01:46:19
「塩酸ドネペジルで改善が認められた具体的な変化」

編集⑧　01:46:19～01:54:08
「三焦鍼法と塩酸ドネペジル（アリセプト）」について
「老年症候群」について
「鍼灸師のための西洋医学」について

西洋医学系・鍼灸医学系・介護福祉系連携型DVD教材開発
～認知症専門鍼灸師のための認知症患者対応型IT教材開発～

【実証WG】

動画編集で6つの介護福祉系講座YouTube動画を作り、
YouTubeに「限定公開」でアップロードし準備を行っています。

■後藤学園 文部科学省委託事業【介護福祉系講座】1-1
「コミュニケーションと関係」
■後藤学園 文部科学省委託事業【介護福祉系講座】1-2
「認知症の方との接し方」
■後藤学園 文部科学省委託事業【介護福祉系講座】1-3
「事例①」の紹介
■後藤学園 文部科学省委託事業【介護福祉系講座】1-4
「バリデーション」について
■後藤学園 文部科学省委託事業【介護福祉系講座】1-5
「タクティールケア」について
■後藤学園 文部科学省委託事業【介護福祉系講座】2-1
「緩和ケアとは」
■後藤学園 文部科学省委託事業【介護福祉系講座】2-2
「認知症とは」

西洋医学系・鍼灸医学系・介護福祉系連携型DVD教材開発
～認知症専門鍼灸師のための認知症患者対応型IT教材開発～

【調査WG】YOU TUBE実証講座用アンケート調査票

作成：実証分科会、調査分科会

この度は、平成27年度文部科学省委託事業・YOU TUBE実証講座にご参加頂き、また本アンケート調査にご協力いただきますことを、心より感謝申し上げます。一から五にご回答いただいた後、アンケートの設問についてお答えください。

一、年齢：（　　）歳
二、性別：1，□男性　2，□女性
三、臨床歴（臨床経験年数）
1，□1年未満　2，□1年～3年未満　3，□3年以上　4，□5年以上
四、ご職業：
1，□開業鍼灸師　2，□勤務鍼灸師　3，□その他（　　）
五、その他の国家資格をお持ちの場合はお答えください（複数回答可）
1，　□看護師　2，□介護福祉士　3，□社会福祉士　4，□柔道整復師
5，□理学療法士　6，□作業療法士　7，□言語聴覚士　8，□薬剤師
9，□医師　10，□その他（　　）

西洋医学系・鍼灸医学系・介護福祉系連携型DVD教材開発
～認知症専門鍼灸師のための認知症患者対応型IT教材開発～

【調査WG】YOU TUBE実証講座用アンケート調査票

作成：実証分科会、調査分科会

【アンケート調査】
選択形式の設問には□に「✔」を入れてお答えください。自由記述形式のアンケートには自由記載でお答えください。
【設問1】
認知症の方に対する対応法を身につけたいですか。
1，□積極的に身につけたい　2，□身につけたい　3，□少しは身につけたい　4，□身につける必要はない
【設問2】
本講座の受講前に認知症の代表的な中核症状について知っていましたか。
1，□よく知っていた（3つ以上）　2，□少し知っていた（1～2つ）　3，□知らなかった（0）
【設問3】
本講座を受講して、中核症状について理解できましたか。
1、□とても理解できた　2，□大体理解できた　3，□少し理解できた　4，□理解できなかった
【設問4】
本講座の受講前に認知症の代表的な周辺症状について知っていましたか。
1，□よく知っていた（4つ以上）　2，□少し知っていた（1～3つ）　3，□知らなかった（0）
【設問5】
本講座を受講して、周辺症状について理解できましたか。
1，□とても理解できた　2，□大体理解できた　3，□少し理解できた　4，□理解できなかった
［設問6～設問35］

西洋医学系・鍼灸医学系・介護福祉系連携型DVD教材開発
～認知症専門鍼灸師のための認知症患者対応型IT教材開発～

【調査WG】

認知症教育に関する卒前、卒後教育の実態調査、ニーズ調査

【目的】

認知症専門鍼灸師育成にあたり潜在的人的資源の調査

【対象、規模】

全国の鍼灸教育機関（大学、専門学校）100校

【手法】 アンケート用紙配布

【実施方法】

調査分科会で封入、発送、回収、集計分析を行う

西洋医学系・鍼灸医学系・介護福祉系連携型DVD教材開発
～認知症専門鍼灸師のための認知症患者対応型IT教材開発～

【調査WG】下記の教育内容は卒前教育、卒後教育のどちらが良いと思われますか。

作成：調査分科会

【設問１】

西洋医学系教材では次のような内容を導入する予定ですが、鍼灸師の臨床にとって役に立ちそうですか。

１　とても役に立つ　２，役に立つ　３，少し役に立つ　４，役に立たない

《テーマ》

１　高齢者の身体と病気の特徴
２　生活習慣病と認知症
３　高齢者（認知症を含む）の感染症の特徴と対策
４　認知症の中核症状と周辺症状
５　認知症周辺症状と精神科疾患の鑑別
６　認知症患者と家族に対するスピリチュアルケア
７　血管性認知症患者リハビリテーションの新たな試みと展望
８　鍼灸とリハビリテーションとの連携は可能か
９　高齢者（認知症を含む）の救命救急医療の特徴
10，認知症に関する事例報告（ケース報告、対応例）

【設問２】上記の《テーマ》の中で鍼灸学校の卒前教育で導入するとしたら必要性の高いと思われるテーマの番号に〇をつけてください。（複数回答可）

西洋医学系・鍼灸医学系・介護福祉系連携型DVD教材開発
～認知症専門鍼灸師のための認知症患者対応型IT教材開発～

【調査WG】下記の教育内容は卒前教育、卒後教育のどちらが良いと思われますか。

作成：調査分科会

【設問３】

介護福祉系教材では次のような内容を導入する予定ですが、鍼灸師の臨床にとって役に立ちそうですか。

１，とても役に立つ　２，役に立つ　３，少し役に立つ　４，役に立たない

《テーマ》

１，認知症緩和ケア理念
２，介護保険制度、成年後見制度
３，認知症ケアの歴史的背景
４，緩和ケアと東洋医学
５，コミュニケーションとの関係（表現・接し方・バリデーション・触れ合い）
６，チームワーク（役割分担、他職種連携、ケアプラン）
７，症状の緩和（四つの側面をみたす事）
８，家族支援
９，認知症に関する事例報告（ケース報告、対応例）
10，鍼灸師が介護現場で注意すること（リスクマネジメント）

【設問４】上記の《テーマ》の中で鍼灸学校の卒前教育で導入するとしたら必要性の高いと思われるテーマの番号に〇をつけてください。（複数回答可）

西洋医学系・鍼灸医学系・介護福祉系連携型DVD教材開発
～認知症専門鍼灸師のための認知症患者対応型IT教材開発～

【調査WG】下記の教育内容は卒前教育、卒後教育のどちらが良いと思われますか。

作成：調査分科会

【設問５】

鍼灸医学系教材では次のような内容を導入する予定ですが、鍼灸師の臨床にとって役に立ちそうですか。

１，とても役に立つ　２，役に立つ　３，少し役に立つ　４，役に立たない

《テーマ》

１，東洋医学的にみた高齢者の生理病理の特徴
２，東洋医学的にみた老化現象について
３，高齢者に対する鍼灸による全人的・総合的アプローチ法
４，東洋医学による認知症のとらえ方
５，日本と中国における認知症に対する鍼灸治療（文献調査）
６，認知症に対する代表的な治療穴（文献調査）
７，三焦鍼法による認知症治療（考え方とエビデンス概要）
８，認知症に対する鍼灸治療手技
９，日本における認知症に対する鍼灸治療の取組成果報告（在宅、施設、治療院等）
10，認知症患者に対する鍼灸治療対応マニュアル、事例報告（ケース報告、対応例）

【設問６】上記の《テーマ》の中で鍼灸学校の卒前教育で導入するとしたら必要性の高いと思われるテーマの番号に〇をつけてください。（複数回答可）

西洋医学系・鍼灸医学系・介護福祉系連携型DVD教材開発
～認知症専門鍼灸師のための認知症患者対応型IT教材開発～

【調査WG】下記の教育内容は卒前教育、卒後教育のどちらが良いと思われますか。

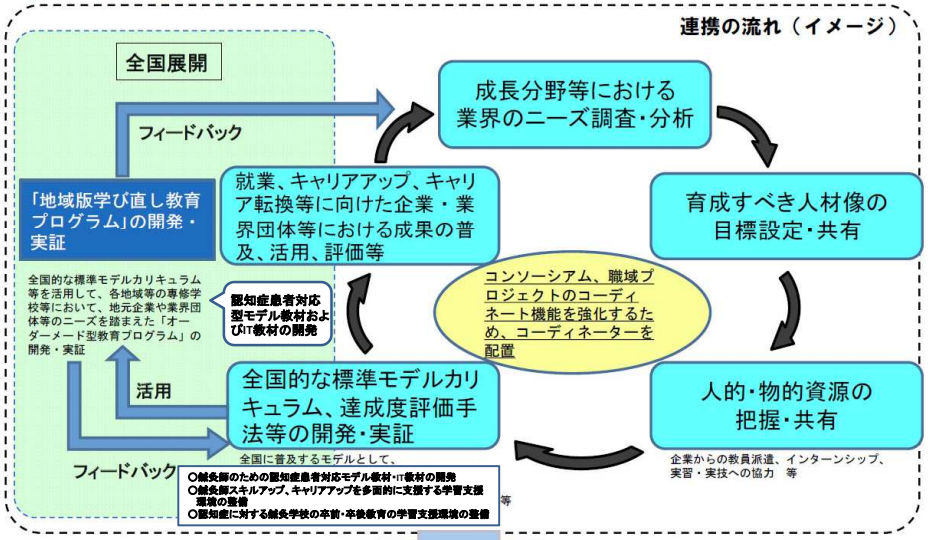
作成：調査分科会

【その他の設問】

・鍼灸師という専門性を鑑みると卒前教育では、認知症に対する東洋医学的な捉え方の教育は必要か？
・鍼灸師という専門性を鑑みると卒前教育では、認知症に対する鍼灸治療の役割と可能性についての教育は必要か？
・卒前教育の現状調査
・卒後教育の現状調査
・認知症についてどれくらいの時間数で……
・授業の中で認知症の種類について紹介していますか？
・授業の中で認知症の主な症状について紹介していますか？
・授業の中で認知症ケアについて紹介していますか？
・授業の中で認知症に対する鍼灸治療の可能性について紹介していますか？
・介護保険制度、または介護保険制度の概要についての講義はありますか？
・成年後見制度、または成年後見制度の概要についての講義はありますか？
・卒前教育での認知症に関する授業の時間数はどれくらいですか？
・卒前教育での認知症に関する時間数はどれくらい必要と思われますか？

認知症患者に寄り添う医療・介護連携型の中核的鍼灸専門人材の育成

コンソーシアム、職域プロジェクトにおいて、産業界と教育界との対話を通じ、ニーズ調査・分析から目標設定・共有、全国的な標準モデルカリキュラム、達成度評価手法等の開発・実証、成果の普及、活用、評価等まで、協働作業による質保証のPDCAサイクル（Pは(Plan)、Dは(Do)、Cは(Check)、Aは(Action)）を構築



産業界と教育界の相互の理解を深め、PDCAサイクルを確立し、双方の活性化へ

本事業推進により期待される効果

今年の1月27日に国の認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）が決定され、7つの柱を打ち出している。これらの7つの柱に対して、本事業の推進により新しい認知症支援人材として認知症対応型鍼灸専門人材を育成し、多職種との相互理解を深め、多職種との協働体制を作ることによって、下記のテーマを実現できる可能性と効果が期待される。

東洋医学によるサポート

① 認知症に対する東洋医学の考え方（予防法・対応法）の普及・啓蒙の推進
② 認知症の人の容態に応じた鍼灸による全身調整をベースとした全人的・総合的な角度からの支援
③ 鍼灸による認知症の人の認知機能低下の抑制
④ 軽度認知障害の人のアルツハイマー型認知症への移行予防
⑤ 鍼灸による認知症の人のご家族および介護者への支援
⑥ 東洋医学の視点からの鍼灸による認知症予防モデルの開発
⑦ 鍼灸による認知症の人を含むご高齢者の不定愁訴の緩和

第3回実施委員会・合同分科会＆成果報告会のご案内

【第3回実施委員会・合同分科会】のご案内

- 日時：2016年2月15日（月）　11：00～12：30（昼食を含む）
- 会場：アルカディア市ヶ谷　6階　「霧島」

【成果報告会】のご案内　　2016年2月15日（月）13：30～16：30

第 一 部　職域プロジェクト成果報告会　13：30～14：15

・本プロジェクトの概要＆成果報告

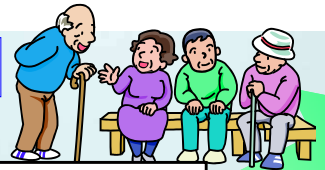
第二部　シンポジウム　14：30～16：30

● シンポジウムテーマ（仮題）

認知症の人に寄り添う中核的鍼灸専門人材の多職種連携の中での役割と可能性

ご高齢者を支える未来を一緒に創ろう

医・介・鍼の連携



不定愁訴の全人的ケア
認知症の予防と改善

健康長寿
健康寿命延伸

新しい連携の可能性をさぐる

新しい連携創出を期待する

病診連携

地域連携
施設連携

医・介・鍼連携

2025年問題解決に挑む

認知症対策(急務!)